

## インターバンクの声（2016年11月24日）

東京市場が勤労感謝の祝日で休場となる中、アジア市場の円相場は 111 円を挟んで値幅の限られた取引が続いた。ロンドン市場も昼頃まではアジア市場と同じような値動きだったが、11月の米耐久財受注の発表前あたりからドル買いが始まり、耐久財受注の数字が市場予想を大幅に上回ると一気に 112 円台に乗せた。ここでドル買いも止まるかと思われたが、米金利の上昇が続いていたことも影響したのか再度ドル買いが始まり、ロンドン・フィクシング頃には 113 円突破目前まで上昇した。この時間帯でのドル買いは対円だけに留まらず、対ユーロでも 1.06ドル台前半から 1.05ドル台前半までドルが上昇、対豪ドルでも 40 ポイント程度ドル買いが進んだ。

耐久財受注と同時に発表された新規失業保険申請件数も良好で、その後の 11 月ミシガン大学消費者信頼感指数も 93.8 まで上昇、CME グループの FED ウォッチは米連邦準備理事会 (FRB) が 12 月に利上げする確率をほぼ 100% 織り込んだらしい。少し前までは少数派だったが、FRB が 2017 年中に複数回利上げするとの見方も急速に広がっているようだ。もうドルを買える水準ではないと思ってから数日、買うのはより難しくなったが売るのも躊躇してしまう。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。